

地域県土警察常任委員会資料

(令和8年3月23日)

[件 名]

- 「とっとり弥生の王国シンポジウム2025」の開催について
【とっとり弥生の王国推進課】・・・ 2ページ

地域社会振興部

「とっとり弥生の王国シンポジウム2025」の開催について

令和8年3月23日
とっとり弥生の王国推進課

3月の異称(和風月名)である「弥生」にちなみ、今年度から3月の1か月間を「とっとり弥生月間」と称し、埋蔵文化財センター、青谷かみじち、むきばんだ両史跡公園では様々な関連イベントを開催しています。

また、弥生月間のメインイベントとして、最新の調査研究成果に基づき、県内の弥生時代遺跡の楽しみ方、弥生文化の魅力を発信し、共有していく学びの場を県民の皆さまへ提供する「とっとり弥生の王国シンポジウム」を開催しましたのでご報告します(今回で第9回目)。

1 とっとり弥生の王国シンポジウム2025

(1) テーマ: YAYOI のジュエリーボックス - 珠玉の弥生ビーズの世界 -

(2) 概要

[会場] 鳥取県立美術館 県民ギャラリー (倉吉市駄経寺町2-3-12)

[日程] 3月21日(土) 午後1時から午後4時まで

[趣旨] 青谷上寺地遺跡をはじめとする弥生時代の遺跡からは、ヒスイ、^{へきぎょく}碧玉、水晶、ガラスといった美しく希少な素材からつくられた^{まがたま}勾玉、^{くだたま}管玉、小玉といったアクセサリーが見つかっている。これら“弥生のジュエリー”は、希少な素材の獲得から完成した製品の流通まで、極めて広域なネットワークの中でつくられたが、弥生時代になぜこれだけ多くの玉がつけられ広域に流通したのかはバールに包まれている。

今回のシンポジウムでは、当時の人々を魅了した“玉”の美に焦点を当て、人々がジュエリーに惹きつけられる意味を読み解く。

[プログラム]

- ・特別講演「日本のガラスビーズ2000年-装身具からアートへ」土田 ルリ子氏(富山市ガラス美術館 館長)
- ・事例報告「弥生のガラスビーズ」「弥生人が好んだストーンビーズ」「青谷上寺地遺跡のビーズづくり」
岡山県古代吉備文化財センター、奈良文化財研究所、青谷かみじち史跡公園の各職員
- ・パネルディスカッション「弥生ビーズの魅力とはなにか?」

2 関連事業の開催

(1) ワークショップ

青谷上寺地遺跡出土品に描かれた絵画をモチーフにしたガラス絵づくり

[日時] 3月21日(土) 午前10時から正午まで

[場所] 鳥取県立美術館 ホール

[講師] 石谷孝二氏(鳥取大学名誉教授)

[協力] 鳥取県立美術館学芸課

(2) 企画展示

- ・青谷かみじち史跡公園令和7年度第3期企画展として「弥生時代のアクセサリー」を開催(4月12日まで)
- ・むきばんだ史跡公園での関連企画展「YAYOI のジュエリーボックス in むきばんだ」(6月30日まで予定)

(3) 県内キャラバン

両史跡公園、とっとり弥生の王国、YAYOI シンポジウム等を紹介するパネルの巡回展示

[東部] 2月16日(月)～27日(金) 鳥取県立公文書館

[西部] 3月1日(日)～11日(水) 米子市立図書館

[中部] 3月17日(火)～24日(火) 鳥取県立美術館 県民ギャラリー



3 「とっとり弥生月間」関連イベント

[埋蔵文化財センター]

- ・「スタンプ文土器展」鳥取市鹿野町の弥生時代遺跡・乙亥正屋敷廻遺跡で出土した台付装飾壺の展示

[青谷かみじち史跡公園]

- ・3月22日(日) 青谷開館2周年記念イベント「周年記念感謝 day」餅まき&駄菓子まき、弥生体験
- ・3月22日(日)～4月5日(日)の土日 ふわふわ遊具、弥生土器パズル

[むきばんだ史跡公園]

- ・3月20日(金)～3月31日(火)「むきばんだ史跡公園写真コンクール2025作品展」
(3月7日(土)、8日(日)は県立美術館でも展示)
- ・3月24日(火)～3月29日(日) 桜ウィーク(桜の石鹸づくり、野草茶とお菓子のふるまい)